

妊婦さんの歯のこと



妊娠し出産するといった中で、歯科とは一体どんな関係があるのでしょうか？歯科といえば口の中の病気を治すところであり、妊娠と関わりがあるとは考えにくいですが、しかし、実際には大きな関連があるために、福山市では歯科医師会と協力して「妊婦歯科健診」を行っているのをご存知ですか？

では、妊娠中にどういった影響があるのか？よく耳にする「歯周病」！それが悪化してしまうことにより、早産や低体重児の発生頻度が 7.5 倍も高くなるともいわれているためです。また、他にもあるリスクを、正しい知識を身につけられ回避することが大切です。

小池デンタルクリニック 院長 小池秀行

ご存知の方も多いでしょう。今時ですから、皆さん1日に1～2回は歯磨きしている人が大多数を占めていると思います。にもかかわらず、8割が歯周病といわれるのは朝晩の歯磨きでは足りない、ということなのです。

虫歯にしても歯周病にしても悪化させる原因として、食事をした後の口の中の食べかすがバイキンたちを活性化させ、症状を進行させていくといったイメージは何となくわかるかと思います。ということは、朝晩に歯磨きをしているだけでは口の中のメンテナンスが足りないために、このような状況になるのです。食事で口の中が汚れ、口の中の環境を悪化するのであれば、食事が終わったら、その都度歯磨きを行えば、バイキンはエサとなる食べかすにありつけないようになっていき、口の中が悪化することを防ぐことができます。1日の多くの時間を清潔な状況で過ごすのと、食べかすにまみれて過ごすのでは大きな違いになってしまうことをご理解いただけたでしょう。例えるなら、トイレに行って用を足した後は毎回お尻を拭きますよね。もし「朝晩お尻を拭いておけば日中はトイレに行ってお尻を拭かなくても私のお尻はキレイですよ」といわれたら、あなたは納得できますか？

「毎食後、歯を磨きましょう」というのはそう考えるとより理解しやすく、納得もしやすくなるのではないのでしょうか。また、毎食後に歯磨きをしていても、口の中は見えにくいところですから、歯ブラシだけで完璧に磨ききれぬ人はいます。デンタルフロスなどの補助となる清掃器具の使用や、定期検診で訪れた際にクリーニングをしてもらうことをお勧めします。「えっ、そこまでするの？周りの人たちは

そこまでやってないよ？」と思われるかもしれませんが、その結果が「日本人の成人の80%が歯周病」だということを今一度認識してください。そうすることで、歯周病ではない20%の側にあなたもなることができるでしょう。大人が自分の口の中ですらこれですから、実は子どもも歯周病になっている率は高く、平成23年度の厚生労働省の調査データからは、小学生の約4割が歯周病だといったことも示されています。これが中学生になるとさらに増加し約5割となります。中学生の2人に1人が歯周病に陥ることになります。大人から子どもまでこういった状況であるため、歯を失う一番の原因は、虫歯によるものではなく歯周病であるということも合わせて知っておいていただきたいです。

ここまで述べたように、日本人の大部分は口の中が汚いというように考えても言い過ぎではありません。ですから、妊娠中に歯周病の病原菌が5倍に増えてしまうというのは気楽に受け止めていいものではありません。先述のように、単純に口のキレイな方の5倍では済まず、注意が必要なのです。成人の8割が歯周病という状況で、さらに妊娠により病原菌が増加することは、日本人の妊婦さんは、ほぼ100%歯周病ですよ、と言い換えても過言ではないのです。このような知識がなかった時代は、「妊娠中に子どもにカルシウムを取られて歯がもろくなった」といった、迷信のようなことがいわれていたのは、言い換えると、それだけ多くの妊婦さんたちが出産のたびに、口の中の状態を悪化させていった名残でもあるわけです。ですから口の中を守るために、まずはこびり付いてしまっている病原菌の塊である歯石を

歯医者でしっかり取り除いてもらい、一度きれいな環境にして、それをできるだけ長く維持していくために毎食後に歯磨きを行っていきましょう。



増加した歯周病の病原菌は、血管を利用して身体のいろいろな場所に運ばれ、たどり着いた先で悪さをする場合があります。妊娠中の子宮へたどり着き影響を与えるとき、早産や低体重児の発生確率が7.5倍になるといった学会報告もなされていて、もしかすると口の手入れが悪かったために予定より早く出産となってしまうたりしているのかもしれない。

歯周病でなければ早産や低体重児にならないわけではありませんが、歯石取りやブラッシングを行なって改善することが、そのリスクを抑えられるのだとすればその方がいいと思いませんか？ところが、妊娠によってこのような影響があると思ってもいない方が多く、そのため福山市と福山歯科医師会が協力し「妊婦歯科健診」を実施することにしました。まだ妊婦歯科健診を受診していない方は、これを機会に歯医者に行くことをお勧めします。自分の口の中と生まれてくる赤ちゃんのために、ぜひ歯医者に行ってください。妊婦歯科健診を受診した際に、「歯周病ですね」、「歯周病の治療が必要ですね」といったコメントのみで妊娠中のリスクについてしっかり説明してくれない歯医者もいると思いますが、前述のように妊婦さんはほぼ100%歯周病と言っても過言ではありませんから、む



妊娠中に産婦人科に行くならともかく、なぜ歯科なのか？と疑問に思う方も多いでしょう。しかも福山市と歯科医師会が協力して「妊婦歯科健診」を無料で行うほど、妊婦さんにぜひ歯医者に行って欲しいとアピールをしています。それでも来院されない方がいますので、なぜ「妊婦歯科健診」が必要なのかを解りやすく説明していきたいと思っています。



口のなかには常在菌といわれる菌があり、そのなかに歯周病の病原菌が存在します。この歯周病の病原菌は女性ホルモンが大好きで、女性ホルモンが増えと一緒に増えてしまいます。妊娠期間中、女性ホルモンの分泌が多くなることはイメージしやすいかと思いますが、この多くなった女性ホルモンにあわせて、前述のように歯周病の病原菌が増加するわけですが、その数

はおよそ5倍にもなるといわれています。5倍といった数字で、健康なキレイな口の人の5倍汚いのか、と考える方もいるかもしれませんがそんなことはありません。普段がキレイな人の1.5～2倍汚かったとすると、その5倍汚ければ7.5～10倍も汚いということになってしまいます。歯周病の病原菌が増加すれば、当然歯周病は悪化してしまいます。「自分は歯周病じゃないから大丈夫！」なんて思っていたりしていませんか？「日本人の成人の80%が歯周病」というフレーズを聞いたことはありませんか？歯磨き粉のCMでもいわれているので

しる歯周病であることは伝えられるまでもないことであり、大事なのは妊娠における歯科的なリスクをしっかりとお教えすることなのです。そして、リスクを納得し、改善する努力をしようと妊婦さんに思っただけがが一番大事なことなのです。その上で歯石取りやブラッシングを行ってあげれば、効果はおのずと変わってくるでしょう。

子どもへの影響

生まれてきたばかりの赤ちゃんは口の中に病原菌を持っていませんが、成長する過程で周囲の人から感染していきます、口の中に常在菌といわれるものを取り入れていきます。これは必要な取り込みであり避けることのできないものですが、最初に感染する病原菌が活発で大量であった場合とおとなしく少量であった場合とでは、子どもの虫歯のなりやすさなどの環境に影響を与えたりもいわれています。そして感染率が高いのは、1.母親 2.父親 3.祖母 4.祖父の順となります。これは、お子さんの面倒をみる時間＝ふれあう時間が多い順番で高くなるということです。ですから子どもの将来を考えると、出産にあたってご両親は当然として、祖父母が身近に居られるなら祖父母も、他にも身近に接する機会のある人がいる場合、そういった周囲の人も口の中をキレイにメンテナンスしておいた方が望ましいと思います。また、子どもはお腹の中にいる間に乳歯や永久歯がすでに作られ始めています。乳歯の

もとになる歯胚といわれるものが顎の中で作られ始めるのが、妊娠7週目頃からで、妊娠4ヵ月頃から硬くなって石灰化が始まり、生まれる頃には準備ができています。永久歯も妊娠4～5ヵ月頃から歯胚ができ始め、同様に生まれる頃に石灰化が始まります。ですから、子どもの歯が丈夫かどうかは、妊娠中のお母さんがバランスのいい食事をとって、健康であるかどうか乳歯や永久歯に影響を与えますので、子どもの将来のためにもよく噛めるようにしておきましょう。

これまで述べたことから「妊婦歯科健診」には行っておいた方がいいと、思いいただけただけではないでしょうか。さて実際に妊婦歯科健診を受けられ、治療をすすめられた場合、いくつか不安を覚えることがあると思います。よくある妊娠中の歯科治療への疑問

と答えを列挙しますので、ご参考にしていただければと思います。

■妊娠中になりやすい口の中の病気は？

- 妊娠性歯周炎
- むし歯
- 智歯周囲炎（親知らずの炎症）
- 口臭の増加
- 口内炎
- 妊娠性エプーリス（歯肉腫の一種で歯ぐきに局限してできる良性の腫瘍）などです。

■妊娠中に悪化した歯周病によってどうなるの？

簡単に言えば自分の歯が揺れ始めるのが早くなり、歯が失われるのが早くなる、ということです。言い方を変えると「入れ歯になるのが早くなる」ということです。妊娠中にしっかりした口のケアをしておくことが、早

期に歯を失うことを防ぐことになるわけです。

■虫歯も悪化する？

つわりや偏食、食事回数や間食の増加など食生活の変化が影響する場合もあり、また、嘔吐で胃液（酸）が逆流してきて歯が溶かされやすくなることも影響します。簡単に言えば口の中がもろくなり、虫歯が進行しやすい状況になってしまいます。嘔吐の後などはそのままにせず、せめてうがいしておくことをおすすめします。

■歯ブラシの持ち方や力加減は？

「ぐっ」と握らず、鉛筆を持つように持ってください。そのうえで優しくマッサージするように当ててください。ストロークは、その場で歯ブラシの頭を振動させるように。イメージとしては自分の手が電動歯ブラシであるかのようにです。詳細は歯ブラシの当てる角度などいろいろありますし、「妊婦歯科健診」で歯医者に相談されるといいですよ。

■妊娠中に歯科治療を行っても平気？

妊娠初期や出産直前を避ければ、歯科治療は可能です。むしろ出産直前に口

が原因で痛くて寝れなかったり、先ほど述べた早産や低体重児のリスクを考えると、安定期（5～9ヵ月頃）を目安に治療しておくことをおすすめします。

■妊娠中にレントゲンは撮っても大丈夫？

レントゲンを不安に思う方もいるかと思いますが、歯はお腹からその場所が離れており、さらに鉛の入ったエプロン（防護服）を着けていただき撮影する量は限りなくゼロに近く、被曝の影響はまったくないのに等しいことがわかっています。万一、レントゲンの照射方向がずれてしまっても安心です。また、当クリニックの歯科用CTなどのエックス線撮影装置はデジタル撮影となっており、従来のフィルムタイプに比べて被曝量も少なくなっています。歯科用CTですら約35 μ Sv（マイクロシーベルト）であり、日常生活での1日あたりの被曝量が日本の平均で約4.1 μ Sv、世界平均で約6.6 μ Sv、東京⇄ニューヨーク間航空機で往復が約200 μ Sv、さらに胸部CT撮影が約6900 μ Svであることから考えると、非常に少量の被曝量なので安心して

いただけると思います。

■麻酔の影響は？

歯科治療に使う麻酔は、全身麻酔ではなく局所麻酔です。無痛分娩にも使われる麻酔と同様のものなので、安心してもらえると思います。また、局所麻酔薬には血管収縮剤が入っているため、治療をする歯の周辺に麻酔薬は停滞します。ですから、おなかの赤ちゃんに影響する心配はないといえます。

■抗生物質や痛み止めなどは大丈夫？

抗生物質であればペニシリン系やセフェム系、鎮痛剤はカロナールなどアセトアミノフェンが安全であることが産婦人科医師の見解で明らかになっています。必要な場合には歯医者やかかりつけ医と相談して最小限で使うことをおすすめします。また、当クリニックでは妊婦さんに安全に服用できる抗生物質や痛み止めを投与していますので、安心してお飲みいただけます。

■「妊婦歯科健診」にはいつ行くといい？

妊娠が分かったら、なるべく早く健診を受け、歯科医師と相談して口の中の管理を早めに開始することが、これまで述べたリスクの軽減に非常に効果的です。

最後に

妊婦の皆さん！自分の歯を守って、早産や低体重児といった出産のリスクを避け、出産後にとびきりの笑顔でいられるようにしましょう。応援させていただきますよ。

2017年度（平成29年度）
赤ちゃんへ丈夫な歯のプレゼント

重度の歯周病は、早産・低体重児出生の可能性が高まります。

福山市妊婦歯科健診
プレママ歯っぴい健診と、専らね

無料

対象者
福山市に住所を有する妊婦

実施場所
福山市が委託している実施協力医療機関（要予約）

健診内容
・口腔内診査
・歯科保健指導

持参物
・妊婦歯科健診受診票（母子健康手帳別冊）
・母子健康手帳
・健康保険証

赤ちゃんのむし歯予防は妊娠中からはじまります

妊婦歯科健診当日は健診のみを行います。治療については健診後にご相談ください。

【問い合わせ先】 福山市保健所 健康推進課 電話 084-928-3421
福山市歯科医師会 電話 084-941-4444



ハイ！私がお答えします

I ANSWER THEME

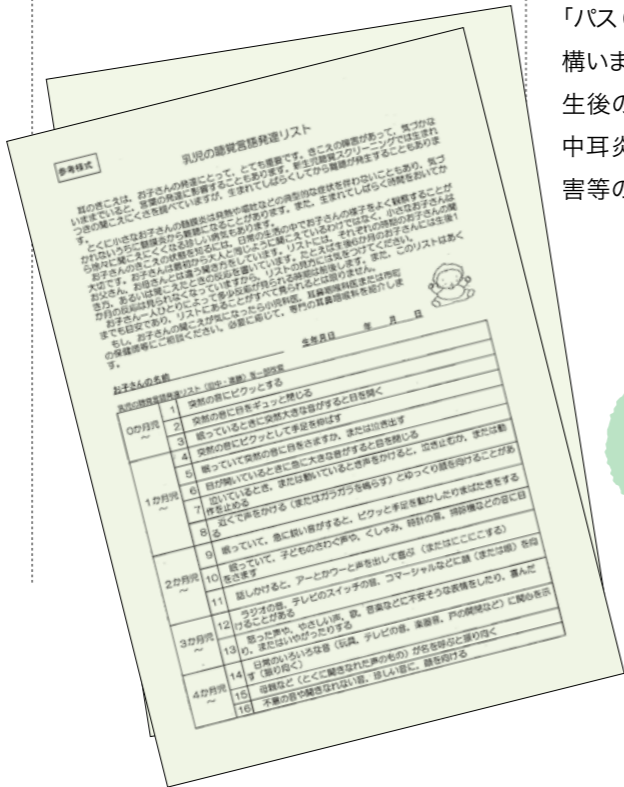
あなたは日常の診療を通して、疑問を持ちながら何気なくやり過ごしていることや訊きそびれていることはありませんか？このコーナーでは、患者さまをはじめそのご家族の、診療におけるさまざまな質問や相談に、当院と当グループクリニックの適任スタッフが答えするコーナーです。

Question

**新生児聴覚検査とは
どんな検査ですか？
詳しく教えてください。**

生まれたばかりの赤ちゃん(新生児)に行う、耳の聴こえの検査です。当院では、生後2～3日目に、授乳後の赤ちゃんが眠っている間に、自動ABR(聴性脳幹反応)という装置を用いて行っています。音を聞かせて脳の反応を観ています。

赤ちゃんの両耳にイヤークラというヘッドホンのような物をつけて、700～5000Hz、35デシベルのクリック音を聞かせています。左34回/秒、右37回/秒です。どんな音なのか想像が難しいですね。ささやき声程度のツーツーツー……。いやいや、ツツツ……。検査結果は2～3分で出ることもありますが、30分以上かかることもあります。できるだけ、赤ちゃんがぐっすり眠っている時に検査をしていますが、検査をしている環境や、赤ちゃんの様子によって、時間がかかる場合があります。次のようなケースでは、赤ちゃんの聴覚に問題がなくても、検査時間が長引きます。



例えば周囲の騒音が邪魔になるとか、赤ちゃんが眠っていても、ごそごそと動いて判定ができないなど。また、生後1ヵ月を過ぎると赤ちゃんが目覚めている時間が長くなり、聴覚検査を実施するのが難しくなるからです。また、早期に適切な援助を開始することで、コミュニケーション能力の向上や言語発達において、大きな効果が得られるなどの理由から早期発見が重要です。

Question

**検査の結果は
どのようなものですか？**

「パス(Pass)」あるいは「要再検(Refer)」のいずれかで判定されます。「パス(Pass)」とは、その時点では原則として聴覚に異常がないことを意味します。「要再検(Refer)」とは、もう一度検査の必要があることを意味します。「要再検(Refer)」の状態である赤ちゃんに対して、「パス(Pass)」と偶然に判定されることは統計上極めて低い確率ですので、1回でも「パス(Pass)」が出れば異常なしと考えて構いません。生後の成長過程で罹るおたふくかぜや、中耳炎による聴覚障害や進行性聴覚障害等の発生は、事前に予測することはで



きません。当院では、産後に「乳児の聴覚言語発達リスト」というパンフレットをお渡ししていますので、ご参考になさってください。

そして、「要再検(Refer)」とは、もう一度検査の必要があることを示しているもので、直ちに聴覚障害があることを意味するものではありません。初回検査で「要再検(Refer)」となったら、翌日以降に確認検査をします。その結果「パス(Pass)」となることもあります。検査をしている環境や赤ちゃんの状態により、聴覚に異常がなくても「パス(Pass)」にならないことがあります。検査結果が「要再検(Refer)」となっても、検査を繰り返すことで「パス(Pass)」となることがあります。例えば、周りがうるさかったりすると、うまく検査できない時があります。また、ぐっすり眠っていないとき、耳垢があるとき、耳の中に羊水が残っている時、黄疸がある時など、様々な状況で「要再検(Refer)」となってしまうことがあります。そんな時は翌日以降に確認検査をしています。もちろん、耳そうじをしてから検査します。

Question

**「要再検(Refer)」となる
確率はどのくらいですか？
また、確認検査でも
「要再検(Refer)」だった
場合はどうなりますか？**

実際に障害が見つかるのは、1000人に1～2人といわれていますが、この検査を受けると、約1%が「要再検(Refer)」となります。そのため、今回の検査では、耳から聴こえる音に対して、赤ちゃんの十分な反応を捉えることができなかったため、耳鼻科での精密検査が必要となります。確認検査で「要再検(Refer)」となっても、この時点で聴覚に障害があることを確定するものではありません。さらに詳しい聴力検査を受けていただくために、精密検査が実施可能な機関を紹介します。当院では福山地区の耳鼻科専門病院として「東川耳鼻科」を紹介しています。

私がお答えしました



臨床検査技師 検査室主任 小島京子

“小池やすはら 小児クリニック” 便り!



あけましておめでとうございます。
 昨年もカーブは圧倒的な強さでセリーグ優勝を果たし 2 連覇! シーズンが始まった時は今年も優勝するなんてさすがに期待し過ぎかな、CS には出て欲しいな、と控えめに期待していましたが、開幕ダッシュから始まり、交流戦も 1 位、7 月 7 日の七夕の奇跡は本当に熱くなりました。CS での敗退は本当に残念でしたが、長いシーズンを勝ち抜いたその力はすばらしく、一年間楽しませてもらったことに感謝です。今年もシーズンが待ち遠しいですが、きっとチケットが手に入りにくいんだろうなと思うと残念です。

新しい年の始まりには、小児科医として、またクリニックとしてどうあるべきかを毎年改めて考えます。私のモットーは「いつも笑顔でわかりやすく」です。心配なことがあって来られたご家族が相談しやすいように、そして安心して帰っていただけるように話をすることを心がけています。小児科に子どもの付き添いでいらっしゃるご家族にはいろいろな方がおられます。初めての出産、育児でわからないことばかりで不安そうなお母さん、初めての発熱で心配そうなお母さん、子どもの病気で仕事を何日も休まなくてはならないお母さん、お父さんお母さんが交代で休みを調整して看病しているご家族、働くお母さんの代わりに病気の子どもの面倒をみているおばあちゃん、お父さんが忙しくてなかなか一緒に育児ができず一人で双

子の育児を頑張っているお母さん、いろんなご家族がおられます。私たちは子どもの成長を見守り、病気の時に診療するのはもちろんですが、子育てや看病をしているご家族の皆さんが安心して過ごすことができるよう、サポートすることも大切だと思っています。

子どもたちがすくすくと成長していく姿を見られるのは小児科医として嬉しいことですが、いつも心配そうに来院されていたお母さんが、子どもの成長とともに頼もしいお母さんになられているのを見ることもまた嬉しいものです。

子どもたちが毎日元気に笑顔で過ごせるように、お母さん、ご家族の皆さんが安心して笑顔で子育てができるように、今年もスタッフ一同頑張っています。

医師 小池美緒



KOIKE-YASUHARA Pediatric Clinic



待合ホールA

受付

待合ホールB

処置室

- 診療内容
- ・小児科一般外来
 - ・特殊外来
 - 予防接種
 - 乳幼児健診
 - 循環器外来
 - アレルギー外来
 - 甲状腺外来
 - 内分泌外来

診察時間		月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:30	一般外来	●	●	●	●	●	●
午後2:00~ 4:30	特殊外来	○	○	○	○	○	○
午後4:30~ 6:00	一般外来	●	●	●	○	●	-

午前の受付は12:00まで。木曜日の午後4:30~6:00は予約のみの診療となります。

休診日 日曜日・祝日

※特殊外来は、予防接種・乳幼児健診・循環器外来・アレルギー・心疾患・低身長診察や相談に応じます(予約のみ)。

※一般外来は、発熱やかぜ、その他、特殊外来以外の病気の診察となります。

WEB予約 <http://koike-yasuhara.mdja.jp>



院長 安原 伸吾



医師 小池 美緒

定期検診の重要性

—「歯は痛くなければ大丈夫じゃないの？」—

皆さん「歯医者には歯が痛くなったら行けばいい」と思っていますか？

このように考えてられる方は結構多いのではないのでしょうか。では、なぜそのように思われてしまっているのでしょうか？

[1]口元は顔の前面にあり、1日に1回は鏡などで視界に入ってくる場所であることが自分で見える＝管理できる場所であると思わせてしまっているようです。実際は口の中を確認しようとすると奥歯はよく見えませんし、歯の裏側(舌側)はさらに見えなくなります。ましてや上アゴの裏側などは自分では見るのできない場所だと気付くでしょう。そう考えていくと自分の口の中は意外なほど見えないところが多く、管理できない場所だとわかるかと思えます。

[2]1日に少なくとも1回は歯を磨いているという人が大半だと思います。身体他の部分と比較してみると、例えば髪を洗う、爪を切る、耳掃除をする、などといったことよりも毎日手入

れている部分であるということが、「管理している気」になりやすい一因のようです。しかし、手入れが十分かどうかでいえば、1日1~2回(朝晩)歯を磨いている人が多くを占める中で、「日本人の成人の80%が歯周病である」と歯磨き粉のCMなどでも堂々とされている状況を顧みれば、手入れが不十分であると理解できるのではないのでしょうか。

[3]毎食時、当然のように歯を使っても痛みを感じない、困っていないといったことも「管理できている気」になってしまう要因となっています。ところが身体他の病気で考えると問



題なく食べられているから病気でないと言われると、そうではありません。例えば癌などに罹ったとして、すぐに食事ができなくなりますか？むしろ痛みなど、日常生活が困難になってから治療を開始すると、治療が大変になる場合が多いですよ。

健康診断で検査をすることで、本人の自覚がないうちに治療を行うことの利点を「早期発見」、「早期治療」という言葉とともに、皆さんもよく理解されているはずですが、なぜか口の中においては「早期発見」、「早期治療」とはむしろ真逆の「歯医者には歯が痛くなったら行けばいい」と言われる方が多いのが現状です。

以上のことから、口の中でも「痛くなければ病気がない」ではなく、「早期発見」、「早期治療」といった「病気は痛みが出るより前に治療をする」方が良く、おわかりいただけたのではないかと思います。その方が、治療が大事にならずに済む場合が多いのです。虫歯も小さければ詰め物などで即日にキレイに治すことも可能ですが、大きな虫歯になると銀歯のような被せ物であったり、抜歯をしたりする可能性も高くなります。そして、「早期発見」、「早期治療」を行うためには定期検診がとても大事になります。本人の気付いていない、見えていない虫歯や歯周病の兆候を見つけ出すことが可能となるためです。見えそうで見えない口の中だからこそ、歯科で診てもらうことで、意外と多くの虫歯などが見つけられて驚くこともあるでしょう。このように早い段階で悪いところが見つければ、結果として治療も長引かず、短期に終わる可能性が増します。

1本の歯の治療だけ見ても、それはよくわかります。眠れないような痛みになった歯、つまり虫歯が大きく神経まで到達しているような虫歯の場合は、1回の治療で治すことはできず、悪くなった歯の神経をあわせて感染部分を取り除き、いわゆる「根っこの治療」を行います。状態によりこの「根っこの治療」の回数は変わり、悪化がひどかった方ほど回数がかかります。「根っこの治療」が一段落すると、そこに差し歯などの治療を行い、食べられる状態になるまでにさらに数回の治療が必要となるため、1本の歯に1ヵ月以上の期間がかかってしまいます。

これが定期検診で見つかる本人の気付かない小さな虫歯であれば、削る量も少なくでき、コンポジットレジンと呼ばれるプラスチック樹脂の詰め物で、即日に終わらせる治療が可能にもなります。また、この治療であれば保険でも、どこを詰めたのかわからないくらいにキレイに仕上げることも可能です。1本の歯の治療でこれだけの期間の差が生じますから、お口の中全体で見ればその差は歴然となります。

「歯医者に行くと治療が長引くのがイヤなんです」と言われる方がいますが、痛みなどの症状が出てから歯医者に通うと、結果として治療が長期にわたる確率が高くなること、おわかりいただけたでしょうか。

定期検診により「早期発見」、「早期治療」を行うようにすれば、治療にかかる時間や期間は短くなりますので、仕事や家事などで忙しく、歯医者に時間をかけたくない人ほど、「定期検診」→「早期発見」、「早期治療」を意識することで、最終的には歯医者にかかる時間の合計が少なくなる、と覚えておいていただくと良いかと思います。

KOIKE Dental Clinic



ロビー



カウンセリングルーム



診察室

小池デンタルクリニックは…

- 「一般歯科」ですのでお気軽にお訪ねください。予約診療制をとっています。
- 患者さまのご意向を確認しながら治療を進めます。診療方針として、「歯1本」ではなく、「口の中全体」を1つの単位として治療計画を立ててまいります。
- 患者さまのプライバシーに配慮し、診療室はすべて個室となっています。
- 治療計画などをご説明したり、お悩みをお聞きしたりするためにカウンセリングルームを設けています。



院長 小池 秀行

歯学博士
日本補綴歯科学会専門医

※歯が欠けたり失われたりした場合に、かぶせ物、差し歯、ブリッジ、入れ歯(義歯)、インプラントなどの人工物で補い、機能・審美を回復することを専門とし、学会で認められた歯科医師です。
社団法人日本補綴歯科学会 <http://www.hotetsu.com/p1.html>



LED 照明付歯科用双眼ルーベ
*全スタッフが所持しています。



口腔外
パキュム



LED 无影灯



LED 照明付タービン

使用器材の衛生管理のため、洗浄・消毒に関する国際規格 (ISO15883) に基づいた高度な洗浄・消毒や、高い安全性を追求した滅菌システムを採用しています。



ホルホープ
(ガス滅菌器)



クアトロケア
(自動注油洗浄器)



ステイティム
(高圧蒸気滅菌器)



Lisa
(高圧蒸気滅菌器)



ミーレジェットウォッシャー
(洗浄・消毒器)



ピエゾン
マスターサージェリー
(超音波振動外科手術器)



炭酸ガスレーザー



歯科用CT

- 診療内容
- ・ 歯科一般外来
 - ・ 審美
 - ・ インプラント
 - ・ 歯周外科
 - ・ 口腔外科

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:30	●	●	●	-	●	●
午後2:00~6:00	●	●	●	-	●	●

休診日 木曜日・日曜日・祝日 ※祝日のある週は木曜日診療